



フランスと日本は、どんな結びつきをもっているの



フランスからの美術・文学・ワイン・ファッションなどの文化の取り入れが中心なんだよ。

日本とフランスの正式な国交は、1858年に「日仏修好通商条約」^{にちふつしゅうこうつうしょうじょうやく}が結ばれてからです。明治時代に入ると、多くのフランス人が日本政府にやとわれて、法律・軍事・ガス事業・鉱山開発などの近代化に、大きな役割をはたしました。1940～1945年、日本はフランス領インドシナを^{せんりょう}占領しました。

文化での結びつき

明治時代から、多くの日本人がフランスへ留学し、学問・美術・洋風建築・ぶどう栽培^{さいばい}・ワインづくり・製本・航空術などを学びました。文学でも、デュマ・ユゴー・ゾラ・モーパッサンらの作品が日本語に^{やく}訳され、日本文学に大きな^{えいきょう}影響をあたえました。大正・昭和時代には、ファッション・美容・映画などでも、日本に大きな^{えいきょう}影響をあたえました。その反対に、19世紀後半の画家ゴッホが浮世絵^{うきよえ}を好んだように、日本の伝統文化がフランス文化に^{えいきょう}あたえた影響も、小さくありません。近年は、日本のテレビアニメが、フランスに進出しています。1997年には「フランスにおける日本年」、翌年^{よくねん}は「日本におけるフランス年」として、文化の交流が行われました。

貿易での結びつき

日本とフランスの間の貿易は、それほどさかんではありません。これはフランス政府が、日本のすぐれた工業製品がたくさん輸入されて、自国の工業がおとろえるのを警戒^{けいかい}しているからです。日本は、フランスに自動車・オートバイ・電子部品などを輸出し、フランスからワイン・ブランデー^{けしやうひん}・化粧品・衣類・旅行用具・ハンドバッグ・美術品・航空機などを輸入しています。